

令和6年度 保健師等ブロック別研修会（関東甲信越ブロック）プログラム

テーマ：「災害時保健師活動について考える」

ー令和6年能登半島地震における保健師活動からの学びー

日時：令和6年8月30日（金）午前9時50分から午後4時40分

会場：新宿住友スカイルーム（新宿住友ビル）47階Room 5-7（東京都新宿区西新宿2丁目6番1号）

主催：（一財）日本公衆衛生協会・東京都

時間			内容	講師等	獲得目標
始	至				
9:30	9:50		会場受付		
9:50	9:55		開会・オリエンテーション		
9:55	10:00		あいさつ		
10:00	10:30	30	講演Ⅰ 「災害対策に関する国の動向と取り組み」	厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室 室長 後藤 友美氏	国の災害対策や、自治体保健師としての役割と平時からの準備を理解する。
10:30	11:30	60	講演Ⅱ 「自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活動の推進」	千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 准教授 雨宮 有子 氏	
11:30	11:40	10	休憩		
11:40	12:40	60	講演Ⅲ 「被災地における保健・医療・福祉のGIS(地理情報システム)活用」	大阪医科薬科大学看護学部公衆衛生看護学分野 助教 堀池 諒 氏	
12:40	13:40	60	休憩		
13:40	15:10	90	シンポジウム 「能登半島地震における保健活動からの学び」 ①新潟市の保健活動 ～液状化による被災者支援を通して～ ②1.5次避難所における活動報告 ③県・市町村合同チーム活動報告 ④DHEATによる能登町の保健師支援の活動報告	座長 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 准教授 雨宮 有子 氏 ①新潟市西区役所健康福祉課地域保健福祉担当 主幹 木場 静子 氏 ②栃木県保健福祉部保健福祉課地域保健担当 課長補佐 原田 千佳子 氏 ③神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課 副課長 小野 聡枝 氏 ④茨城県保健医療部保健政策課 技佐 大竹 美記 氏	能登半島地震の活動から発災時の保健活動につながる平時の取組や連携について考えることができる。
15:10	15:20	10	休憩		
15:20	16:20	60	グループワーク 「平時からの準備と自治体間・他職種連携を考える」	助言・総括 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 准教授 雨宮 有子 氏	平時からの体制整備や準備についてそれぞれの立場で実践可能なことを考える。
16:20	16:30	10	次回開催地あいさつ	茨城県	
16:30	16:40	10	閉会あいさつ		